

組合員数113,436人
支部数 936
読者数 69,320人
(1日現在)
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。



第367号 2020年7月15日(水)
(通巻第566号)
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



イージス・アショア 国内配備計画

断念

追いつめた住民・自治体の声

海上自衛隊のイージス艦に搭載のミサイル迎撃システムを地上に配備



④海上自衛隊のイージス艦に搭載のミサイル迎撃システムと、イージス・アショア配備計画の停止を表明する河野防衛大臣(6月19日)。⑤佐竹秋田県知事(右から2人目)に謝罪する河野防衛大臣(左手前)(写真はいずれもテレビ報道から)



地元住民からは「不安な日々だった」との声

ずさんな防衛計画・巨額の浪費に断!!

迎撃ミサイルの発射後、ブースター(推進援助装置)を演習場内に確実に落とせない技術的な問題があったとして、政府は6月24日の国家安全保障会議(NSC)で、秋田県と山口県を進めてきたイージス・アショア配備計画を断念しました。安全な暮らしを求める地元住民・自治体の粘り強い反対運動が、ずさんなミサイル防衛計画と巨額の浪費を止めました。政府自民党内では代替案として憲法違反の敵基地攻撃能力の協議に入っており、油断できません。

秋田からのレポート

「新屋は断念、秋田県内で検討中」の5月上旬の報道から一転しての河野防衛大臣のイージス・アショア配備計画停止報道が流れたのは6月15日夕方の5時半過ぎでした。「白紙撤回」ではなく「停止」に一抹の不安を覚えながら3年余の取り組みを思い起こし

安倍政権を追い込んだ オール秋田の取り組み

「新屋は断念、秋田県内で検討中」の5月上旬の報道から一転しての河野防衛大臣のイージス・アショア配備計画停止報道が流れたのは6月15日夕方の5時半過ぎでした。「白紙撤回」ではなく「停止」に一抹の不安を覚えながら3年余の取り組みを思い起こし

「新屋は断念、秋田県内で検討中」の5月上旬の報道から一転しての河野防衛大臣のイージス・アショア配備計画停止報道が流れたのは6月15日夕方の5時半過ぎでした。「白紙撤回」ではなく「停止」に一抹の不安を覚えながら3年余の取り組みを思い起こし

「新屋は断念、秋田県内で検討中」の5月上旬の報道から一転しての河野防衛大臣のイージス・アショア配備計画停止報道が流れたのは6月15日夕方の5時半過ぎでした。「白紙撤回」ではなく「停止」に一抹の不安を覚えながら3年余の取り組みを思い起こし

第40回中央委員会 「在宅会議」で方針採択 地域に根ざし運動さらに

全日本年金者組合第40回中央委員会は、コロナ危機の下、組合員のいのちと健康を最優先させる立場から「在宅会議」となりました。各議案に対する中央委員の賛否は、6月22日に資格審査委員及び、会場係立ち合いの下、開票しました。中央

の一人としてオール秋田の取り組みに努力し、「配備撤回」を求める国会請願署名、「県・市議会請願署名」、自治体反対意見書採択、県内署名10氏のアピールへの賛同などを全県で進めました。防衛大臣の「住民の理解を得る」とした発言とは程遠い「くるくる変わる安全根拠、ずさんな調査報告、居眠り」などで県民の怒りがわいて

「新屋は断念、秋田県内で検討中」の5月上旬の報道から一転しての河野防衛大臣のイージス・アショア配備計画停止報道が流れたのは6月15日夕方の5時半過ぎでした。「白紙撤回」ではなく「停止」に一抹の不安を覚えながら3年余の取り組みを思い起こし

風雪

▼20 13年、イギリスで「ディンドン、悪い魔女が死んだ」という「オズの魔法使い」の曲が流行した。サッチャー元首相が死んだからだ。首相を降りた23年後も労働者はくらしを破壊した彼女を許さなかった。

▼彼が「日米同盟」アメリカ力迫の推進役だったからだけでは、湾岸戦争の際、国会にも会社にも嘘をつき民間船を戦地に送り込み船員の命を危機にさらした事実には口をぬぐい手柄話に仕立てあげているからだ。▼真実には目をつぶり「後輩にちそう」とつもらぬことではめそやすマスコミ。きつと安倍首相夫人の訃報記事では「居酒屋を開き、幼稚園支援や若手歌手と仲良しの庶民派」と讃えるのだらう。